

アートパーク10 ～ラブ&ピース大作戦～

7月2日(日)、松戸中央公園で「アートパーク10～ラブ&ピース大作戦～」(主催/聖徳大学児童学研究所、聖徳大学生涯学習研究所)が開催されました。10回目の節目となる今回の「アートパーク」には1,404名の親子が集まり、学生とアートな遊びを一日楽しみました。

「アートパーク」は大学と地域が連携し、公園の新たな活用法や、外遊びの重要性を提案してきました。認知度も回を重ねる毎に徐々に上がってきました。昨年に引き続き千葉大学園芸学部の本下研究室やPARADISE AIR、市内の中学校5校の美術部から中学生と顧問の先生も参加しました。留学生、アーティストも交えた今回は、よりワークショップの内容にも幅が出ました。本学の教員養成の学びと地域団体の持つノウハウの



「まつどでかくれんぼ」うたっておどってLet's have a パレード!!
(保育科岩崎Gr)



「ハッピーカミレオン」(児童学科大成ゼミ)



「ひみつのまっくらランド」(児童学科西園ゼミ)

コラボレーションは、準備の段階から刺激し合い、新たな学習の場が生まれています。

今回、14のワークショップが公園各所で行われました。学内からは児童学科のゼミ(大成ゼミ、関口ゼミ、西園ゼミ、祓川ゼミ)や美術部、保育科(北沢Gr、永井Gr、岩崎Gr)から3団体が参加。地域団体(保育園きぼうのたから・つばさ、まつど工房、じゅんびしつ、ハーモニー、まちづくり会議等)も楽しい企画を実施しました。また、去年の経験者である4年生と児童学科児童文化コースの1年生が「おたすけ隊」となり、全体のサポートを行いました。

ワークショップは、段ボールで作った大きなカメレオンの下で絵具遊びをした「ハッピーカミレオン」(大成ゼミ)や、大切なものを入れる宝箱を制作した「みんなのたからじま」(北沢Gr+きぼうのたから・つばさ)、岩崎Grは「まつどでかくれんぼ」のパレードを行いました。また、児童文化コース1年生が授業で作った「アンケート回収ロボット」は中学生と運営し、好評でした。

当日は川並弘純学長先生をはじめ多くの先生方に参観していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。「アートパーク」は今後も地域と連携し、公園を核に松戸のマンパワーが集結するプロジェクトとして発展させていきたいと考えています。

(児童学科 教授 大成 哲雄)